

## 令和6年度第3回七尾市戦略的復興プラン等推進委員会 議事録

日 時	令和7年2月13日（木）午後3時05分～午後3時40分
場 所	七尾市役所 2階 201会議室
出席者	<p>【委員】出席14名（欠席1名）</p> <p>【七尾市】事務局及び担当部長</p>
委員会における議事内容（質疑応答・意見等）	
委員長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長あいさつ</li> <li>・委員長あいさつ</li> </ul> <p>2 議事</p> <p>（1）七尾市戦略的復興プラン（案）について</p> <p>七尾市戦略的復興プラン（案）について事務局から説明を願う。</p>
事務局	（資料「七尾市戦略的復興プラン（案）」により説明）
委員長	本日は市長が出席しているので、復興プランに対する想いや今後の対応についてお話をいただきたい。
市長	<p>未来の七尾市について、人それぞれ考え方に違いがあり、一つにするのは難しいが、まず変わらないもの、変えてはいけないものというのがあると思う。この能登七尾の豊かな自然、自然から生まれる恵み、それから自然の景色、風景というものは、今後も、変えるものではない。都会的な発展を求めている方と共通するところではないかと思う。また、これから守っていくもの、継承していかなければならないものというのはあると思う。それは豊かな食、育まれた歴史、文化、そして祭りであり、これからも継続していくものであり、皆さんとも意見が共有できる場所だと考えている。</p> <p>その中で解決すべき課題であるが、まずは過疎化を止めること、それから人口減少に歯止めをかけること、あと地域産業をしっかりと継続していくこと、そして持続可能なまちづくりということに取り組んでいかなければならない。</p>

これらの解決方法としては、人口減少、過疎化に関しては、関係人口とか交流人口の拡大、それから定住人口へとつなげることだと考えている。今回の震災があったことにより、普段であれば足を運ぶことがなかったボランティアの方であったり、復旧事業者であったり、全国の自治体応援職員であったり、そういう方たちがこの七尾に来ていただき、この七尾の魅力というものに、十分感じていただいたのではないかなと思う。そういう方たちとこれからもしっかりと関係人口としてつながることで、復興を前に進めることができると考えている。そして、人口減少に関しては、男女の出会いがあり、結婚があり、出産があり、その後の子育て、教育から市民の人材育成につながるものだと考えている。市職員も含めてであるが、こういう人を育てることが重要であり、人は財産だと考えているので、ここをしっかりと取り組んでいきたい。

また、人が生活していくためには、仕事が必要であり、地域産業を魅力あるものにして発展させていくことが重要だと考えている。今回の震災で特に感じたのは、安心安全なまちづくりについて、しっかりと考えていかなければならないことである。この課題を解決していくことが、まちづくりの根本ではないかと考えている。

例えば、観光、文化、スポーツの交流に加えて、国際交流というものが非常に重要になってくると考えている。日本全体で、人口減少していく中で、多くの海外の方にこの地域に来ていただいて、経済とか文化的なものであるとか、スポーツも含めて、つながりを持つということは、非常に重要ではないかと考えている。

あと、地域において大切なものは地域コミュニティだと考えている。この地域コミュニティを活性化するために、15地区にそれぞれ地域づくり協議会、まちづくり協議会、コミュニティセンターがある。これらを各地域でしっかりと生かしながら、地域独自の発展を遂げていくことが大事ではないかと思う。

そして、本市に住んでいる方々、特に若者や移住してきた方が、しっかりと活躍できるために、行政としてもしっかりと支援をしていく流れを作っていくことが大事だと考えている。一方で、歴史や文化をしっかりと守っていきながら、先端技術、新しい技術を取り入れていくことも必要である。本市であると、

一次産業が主であるが、これを6次産業化していくことにより高付加価値をつけていくことや生産性の効率を向上させることが重要であると考えている。さらに、新たな商品や新たなサービスをこの地域で広げていく必要があると思う。あとは作ったものをしっかりと販売していくために、販路開拓ということが産業の分野では重要になってくるのではないかと思う。これらを実現していくためにはAIであるとか、IoT、そういう最新技術をしっかりと活用し、このまちの機能、都市機能の効率化や利便性の向上を図り、その上で、スマートシティ化を進めることにより、市民の皆さんが活動しやすいようなまちを作っていくことが重要だと思う。その上での交通システムやエネルギーの管理、防災対策など、さまざまな分野でしっかりとテクノロジーを活用した市民生活を行うことと、市民生活の質を向上していく、そういうまちを目指す必要があるのではないかなと思う。ただ、これを実現するためには、行政や企業だけではなく、市民一人一人がいろいろな情報を集めて、知恵を出し合い、努力をしていくことで、その結果が将来として復興プランに掲げているまちに近づいていくものだと考えている。

そういう意味では、大きな目的とすれば、創造的な復興と持続可能な発展により誰もが誇れる魅力あるまちを作っていくということが大きな前提になるのではないかなと思う。こういう内容について、戦略的復興プランの中には盛り込まれている。今後、足りないものについては、ご意見やご提案があれば、プランに追加することで、この結果が将来の七尾市になっていくものだと私は信じている。皆さん方と色々な意見交換をしながら、アイデアも出しながら一緒になって、将来の七尾市に向けて、取り組んでいきたいので、引き続き宜しくお願いしたい。

－質疑・意見－

委員長

市長からの復興に対する考え方と事務局からの説明を聞いて、何か質問がある方はいるか。

委員

復興プランの中身や市長の復興への想いについて理解できたが、この後、実際、取り組んでいくことが大事だと思う。地震前もそうであったが、市民それぞれの意識とリーダーシップ力の向上がとても大事だと思う。ボランティア

<p>委員長 委員</p>	<p>でできる人間だけでやることには限界があるので、予算をつけたりすることで仕事としてもできるような形を作っていくことが必要だと思う。</p>
	<p>和倉の復興という観点から、委員に発言をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>何より市長にこの場に出席いただいて、市長の考え方や想いを聞いたのがよかった。和倉温泉も復興プロジェクトとして前へ進めてはいるが、一年以上経っても、まだまだ不十分なところもたくさんある。今後、市と一緒にやっていくことも増えていくと思うので、今回のように市長の想いとか、こちらの想いをぶつけ合う場がある程度、必要だと思うので、定期的を開催していただけるとありがたい。この対話の中からプロジェクトを生み出して、市民と行政みんなで検証しながら復興を推し進めていければと感じた。</p>
<p>市長</p>	<p>本日の午前中、和倉温泉で温泉熱を利用したエネルギーの効率化の勉強会に参加した。復興を進めていく中で、いろんな新しいアイデアや情報が入ってくるので、復興プランを固めてしまうのではなく、進めながらいろんな新しいものを取り入れていくっていうことが大事だと思う。ある程度の方向性は必要だと思うが、例えば解体が進んできたが、やはり建物として価値のある古民家は残していこうというように考え方が変わったりするので、臨機応変に対応しながら、皆さんと一緒にこう作り上げていくことが大事だと思うので、そのあたりも含めて、引き続き、よろしくをお願いしたい。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>意見がいくつか出たが、事務局としてどのようにすべきかをお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここまで全3回にわたり委員会を開催し、また、個別にヒアリングも実施させていただき、プラン（案）を提示させていただいた。このプランを策定して終わりではなくて、今後どうしていくかということが一番大事なことはないかと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、このプランを策定する方向でよろしいか。</p>
<p>市長</p>	<p>委員からも何かご発言をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>第1回の委員からの発言があったように、プランに掲げるものに取り組んでいくことが大事だと思う。プランを策定し、できるだけ早く行動に移していくフェーズに入りたいと考えている。ただ、資料を拝見していて、一つだけ心配だなと思ったところがある。43ページのKPIについてである。国の方も、</p>

	<p>行政レビューシートがあるように、どれだけの予算を使い、どれだけの成果を出しているのかという効果検証は必要になってくるかと思う。各項目の主な事業に取り組むことが全てのK P I にすべてつながっていく積み上げになると思うので効果検証の定量的な数字の設定っていうのが重要だと思う。</p>
委員長	<p>本日、このプランを承認し、策定するということにさせていただく。事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>何度も繰り返し申し上げたが、作って終わりではなく、今後このプランを実行していくことが重要である。次年度以降の委員会では、検証を含めて、委員の皆さんと意見交換しながら、より良い方向に復旧・復興が進んでいくようにご協力いただきたい。</p>
委員長	<p>以上で本日の議事は終了する。最後に副委員長から一言あいさつをお願いしたい。</p>
副委員長	<p>この8月から6か月間にわたり戦略的復興プランの策定に向け、当委員会ではいろんなご意見やご議論をいただいた。この戦略的復興プランを基に一日も早い七尾市の復興を目指して、市民と行政が一体となって、取り組んでいかなければならない。委員の皆様には引き続きよろしくお願いいしたい。</p>
委員長	<p>本日の会議はこれにて終了とする。会議の進行にご協力いただき感謝する。</p>
	<p>3. 閉会 —終了—</p>